

「延岡市子育て支援総合拠点施設「えんキッズ」の園庭遊具の設置等」に関する貴重なご意見を頂き、誠にありがとうございました。頂いたご意見は「えんキッズ」を誰からも親しまれる魅力ある施設にするために、参考にさせていただきます。なお、「えんキッズ」の園庭遊具の設置等につきましては、選定委員会を設置し、複数の事業実施希望企業からの提案をプロポーザル方式で選定いたします。今回、市民の皆様から頂いたご意見は、提案する企業や選定委員にしっかりとお伝えし、選定委員会では子どもたちがより良い環境で遊べるような提案を選定していただくよう選定委員に依頼したいと考えています。

	要点	市民の意見（概要）	延岡市の考え（概要）
1	遊び方のルールを表示	◆対象年齢や遊び方（事項）が設定されている遊具は目立つ場所に専用マークが貼られている。	「えんキッズ」は様々な子どもが、安心かつ安全に利用できる施設を目指しています。どの利用者にもわかりやすいサインの設置などは、大切な視点であると考えています。また、禁煙のアナウンスについては、掲示物等により敷地内禁煙を周知徹底します。
2		◆サインの工夫。色覚異常や弱視でも見やすいサイン。点字や音声、多言語での説明。どんな人も歓迎、とわかるような表現。	
3		◆禁煙のアナウンスもお願いしたい	
4	安全への配慮	◆点在していて、あまり混雑しない配置	子どもたちが安心して遊ぶためには、安全面への配慮は欠かせません。設置する遊具や、その配置については、安全を最優先としたものになるようにいたします。また一方で、兄弟が一緒に来場するケースも考える必要がありますので、対象年齢についてはバランスを考えながら想定する必要があると考えています。
5		◆転んでも痛くない原っぱやゴムチップ舗装の地面。	
6		◆対象年齢に応じた遊具を分けて設置してほしい（大きい子がくると、1～2歳で親が連れ添って遊ぶ子は遠慮するため）	
7		◆できるだけ死角をつくる大型遊具は置かないほうがいい。理由は、死角が多くなること、幼児から小学生まで同じ空間にいると非常に危険だからです。大型遊具は、遊具を主体にした他の公園にお任せしてはどうでしょうか。公園はまだ保護者が一緒に見守ってくれている確率が高いです。	
8	◆囲いのあるスペース。多動の強いお子さんや複数の子どもを見守る保護者の為に一部分に囲いを		
9	空間デザイン、付帯設備	◆日光を楽しめる施策。宮崎の陽射しは強く、子育て中は寒さよりも大きな敵と感じます。・南国特有の「日陰なら心地よい」利点をいかし、適度に日差しを遮る設計。・強い日差しを利用して「影を楽しむ」施策で遊び心をくすぐる（動物型など）・カラフルな影をつくる	夏の期間は日差しが強く、熱中症や遊具による火傷の危険性もあり、暑くて幼児が外で遊ぶことができないことも想定されます。このため、1年中楽しく遊んでいただくためにも、強い日差しを凌ぐ日陰は必要であると考えています。園庭と建物の間には、大きな屋根のあるウッドテラスもありますので、その活用も含めて、日陰を設けるとともに、ご意見を企業に伝え、良い提案を考えてもらおうと思います。
10		◆日陰の設置。光線過敏症、色素の薄い方、紫外線アレルギー、発達障害など光に弱い方たちの為に。宮崎県は紫外線が強く真夏は公園に数分いるだけでも熱中症になりそうです。延岡の公園で、日陰が多いのは植物園くらいしか思いつきません。どこも真夏はぞっとする暑さです。日陰は切に望むポイントです。	
11	遊具の色彩	◆砧公園の遊具の多くは視認性の高い色を使っているが、広場全体を落ち着いたトーンにすることで視覚への刺激を抑えている点にも、是非注目してほしい。	遊具の色彩は、子どもにも優しく、見やすいものになりたいと考えています。
12		◆優しい色づかい。強い配色に目が疲れる人、宮崎の強い日光の中、極力自然の配色に	

13	ユニバーサルデザイン	◆日本では数少ないユニバーサルデザインを取り入れた都立砧（きぬた）公園「みんなのひろば」のノウハウをえんキッズの遊具整備に取り入れてほしい。	砧公園の「みんなのひろば」は今注目されている先駆的公園なので、今回の「えんキッズ」の遊具整備でも参考にしたいと考えています。
14	空間デザイン	◆遊具のないスペースもほしい（子どもがかけまわるだけや赤ちゃんづれでビニールシートをひいて座って見るだけの場所が確保できれば）	「えんキッズ」の園庭では、幅広い年齢層のお子さんに楽しんでいただきたいと考えていますので、利用しやすい空間づくりにも配慮したいと考えています。また、泥んこ遊びや駆けっこのできるスペースも確保したいと考えています。
15		◆通路はベビーカーで通ることができる幅を確保してほしい	
16		◆段差のない、しかし起伏のある公園。ベビーカーや車いすはもちろん、転びやすい子どもの為に。駐車場や施設全体のバリアフリーを。しかし公園は高低差を設けることで遊び心と立体的な面白さがうまれます。子どもはただの坂でも興奮します。小さな子どもや車いす、元気な子どもと一緒に遊べるような起伏が理想です。	
17		◆遊具があることで遊びが楽しいものになるのは間違いないのですが、広いスペースにただ築山があり、その斜面にすべり台があるだけで十分と思うことが多いです。できるだけ自然に近い形を望みます。障がいがある子どももその他の子どももその大人も楽しめるのではないかと思います。ビオトープを取り入れている小学校や保育施設などとても魅力的だと思います。	
18		◆延岡市内ではえんキッズにしかない遊具ができると嬉しい（一番長いすべり台とか、めずらしいデザインの遊具とか）	
19	具体的な遊具の希望	◆座ることはできても立てない子、1人では座れない子が遊べる遊具を希望します。背もたれの高いブランコ、ねっ転がって乗れるカゴ形ブランコ、親と一緒に座れるベンチ形ブランコ。車椅子も登れる広いスロープのある遊具。大人と一緒に滑れるあまり高すぎない滑り台。幅の広いシーソー。	「えんキッズ」の園庭は、幅広い年齢層の子どもたちに楽しく遊んでもらえるようにしたいと考えています。また、障がいのある子も障がいのない子も一緒に遊べるような遊具も設置したいと考えています。園庭の広さは限られていますが、可能な限り色々な要素を盛り込んだ園庭にしたいと考えています。
20		◆延岡の公園にはターザンロープがなく、子供に人気の為設置していただきたいです。	
21		◆様々な子どもと一緒に遊べる遊具。・砂場（車いすや足や服に砂が付くのが嫌な子どもに）・シーソー（さまざまな特性の子どもが揺れをたのしめる遊具を。）・ブランコ（背もたれのあるブランコなら、障害のある子どもも利用しやすいです。）・滑り台（緩やかなスロープで上までいき、車いすの子も家族と滑れるような緩やかな滑り台）小さな子も大人と一緒にすべれる。ゆっくり準備しても後ろが使える申し訳なさが無い、順番待ちで揉めがちな特性の子も遊べるなど。また、滑らかな石の感触は気持ちがよく安心感があります。	
22		◆視覚や聴覚に障害のある子も楽しめる遊具。指先や音の響きで楽しめるような工夫のある遊具	
23		◆障がい児も安心して遊べるもの。総合遊具であればアルミ製であまり高さはない方がよい。	

24	公園のテーマ	◆自然素材を配置。石のすべらかさや木のぬくもりが感じられる場を	自然な素材や環境をもって、子どもたちに豊かな遊びの機会を提供することも大切であると考えています。遊具の設置を望まれる声もありますので、バランスや調和などを検討してみたいと考えています。
25		◆自然と一体化した遊具。豊かな自然環境での遊び活動は、子どものストレス低減や免疫力向上などのほか、発達障害の一つであるADHD/注意欠如・多動症の症状の緩和にも有効とされています。延岡・おやこの森にあるちいさな森で子どもたちはとても楽しそうに遊んでいます。そういう場を今回の施設にもお願いしたいです。	
26		◆自然（四季）を感じられる庭になってほしい。遊具は極力置かず、広い砂場、土の山、芝生の丘のような子供たちの想像力でどんな遊び方もできる自然をメインにした庭はいかがでしょうか。遊具よりも、四季を感じられる草木がある場所であってほしいです。そして、水を自由に使えるともっと遊びが広がると思います。遊具はほとんど決まった使い方しかできませんが、砂、土、水、自然の草木は無限に遊び方があります。小さい子大きい子も一緒に遊ぶことができます。せっかくの庭を遊具で窮屈なスペースにすることなく、できるだけ開放的な見通しの良い場所にしていただけたらと強く願います。	
27	付帯設備	◆妊婦が立ったままやしゃがんだりし続けるのが大変なので、ベンチや腰かけられる遊具がほしい	訪れた人が利用しやすい施設となるよう設備についても配慮したいと考えています。
28		◆1つでもいいから、屋根のあるスペース（遊具でもベンチでもいいので、雨上がりで公園に行ってもぬれていて遊べないことが多い）	
29		◆洗い場が欲しい（帰る前に手を洗ったり、コケた時にすぐに洗えるようにしたい、できたら高さが違うもので2つ。足洗い場スペースは小さい子の足がぬれるので高い方につけてほしい）	
30		◆手洗い場やトイレの障害者向け設計。車いすでも洗いやすい、飲みやすい設計。手元が不自由な子でも扱いやすい蛇口。（車いすが入れるスペースのある洗い場、使いやすいレバー例）パニック症状が起きた時にクールダウンできたり、授乳やオムツ替え、着替えのできるプライベートスペースもあるとありがたいです。ただし、他の兄弟児を見守るために外はのぞけたり、安全面や不審者の隠れ場所になる事を考えて、密室になりすぎない設計。（足から胸までが隠れる程度の目隠し）もしくは、トイレに着替え用の足場を設置なども。（子どものオムツ替えや着替えに）車いす対応の休憩スペース	
31	水を使った遊び	◆夏に噴水などがあると、夏に遊びに行ける場所が増えて嬉しい	水を使った遊びは子どもたちが大好きな遊びの一つです。夏場に使用するビニールプールを考えていましたが、他にどのようなものが設置できるか検討してみたいと思います。
32		◆水のせせらぎ。プールや川、海がありますが小さな子ども向けの「じゃぶじゃぶ池」がない延岡。さらさらと水のせせらぎが感じられるような、車いすでも楽しめる設計に。また、衛生面もあるので小規模で流れのあるもの。水がピュンと飛び出す施策、車いすや幼児にも楽しめる。	
33		◆いろいろな感覚を体験できるように「水あそび」ができる場所、遊具など。単品であればなるべくソフトな感じで角がなく、安心できるもの。	
34	その他	◆狭い空間。狭い空間が落ち着くお子さんのために	設置する遊具やその配置などで実現できないか検討してみたいと考えます。屋内であれば、図書ルームの一角に小さな空間がありますのでそちらも気に入っていただけるかもしれません。